

平成 18 年度

慶應義塾大学大学院入学試験問題

法務研究科

法律科目試験（簡易記述式）

- 注 意
1. 指示があるまで開かないこと。
 2. この問題冊子は 8 頁ある。試験開始後ただちに落丁，乱丁等の有無を確認し，異常がある場合にはただちに監督者に申し出ること。
 3. 受験番号と氏名は，解答用紙（表）上のそれぞれ指定された箇所に必ず記入すること。
 4. 解答用紙の を記した空欄内には何も書いてはいけない。
 5. 解答は科目ごとに指定された解答用紙に書くこと。誤った解答用紙に解答した場合でも，解答用紙の交換や再交付には応じない。
 6. 答えは横書きとし，解答用紙（表）の左上から，順次，実線内に一行ずつ書き進めること。
 7. 答えは，黒インクの万年筆またはボールペンで書くこと。
 8. この問題冊子の 3，5，7，8 頁は白紙である。下書きの必要があれば，この部分を利用し，解答用紙を下書きに用いてはならない。
 9. 注意に従わずに書かれた答案，乱雑に書かれた答案，解答者の特定が可能な答案はこれを無効とすることがある。

商 法

甲株式会社では、定款で株式譲渡には取締役会の承認を要する旨を定めている。甲会社の株主Aは、同社の取締役会の承認を得ないで、その株式をBに譲渡した。

- (1) 現行法上、株式の譲渡が原則的に自由とされているのはなぜかを説明しなさい。
- (2) 定款で譲渡制限を定めることが許されるのはなぜかを説明しなさい。
- (3) 本件株式譲渡の効力について検討しなさい。

民事訴訟法

第1問

原告Xの被告Yに対する貸金返還請求訴訟について、以下の問題に答えなさい。

1 Yの次のような訴訟上の陳述は、どのような効果を生じるか。

- (1) Xが、訴状の請求の趣旨として「YはXに対し、金500万円を支払え。」と陳述したのに対し、Yが「認める。」と陳述した場合。
- (2) Xが、請求原因として「XはYに対し、平成17年5月1日に金500万円を、弁済期同年6月末日の約定で貸し渡した。」と陳述したのに対し、Yが「認める。」と陳述した場合。

2 Yは、上記1の(2)の陳述を、撤回することができるか。理由を付して述べなさい。

第2問

共同訴訟には、どのようなものがあるか。具体例をあげて説明しなさい。

刑事訴訟法

- (1) いわゆる内ゲバ事件が発生し犯人逃走中との無線情報を受けて警戒中の警察官が、犯行後約1時間経過した後、犯行現場から約4キロメートル離れた地点で着衣等が泥で汚れたX、Yを発見し、職務質問するため停止を求めたところ逃走したので数十メートル追跡したが、その際、同人らの髪がべっとり濡れて靴は泥まみれであり、Xの顔面には新しい傷跡があり血の混じった唾を吐いている等の事情があったので、同人らを準現行犯人として逮捕した。準現行犯人逮捕の手続は適法か。結論を述べ、その理由を簡潔に記しなさい。
- (2) 覚せい剤取締法違反事件において、警察官は、搜索差押許可状を得て、密売人と思われるXのマンションの1室で覚せい剤や覚せい剤を小分けにするのに使用するビニールの小袋や秤等を搜索していたところ、別件の殺人事件で犯人が着用していたと認められる血糊の付いたジャンパーを発見した。警察官は殺人事件の証拠としてジャンパーを入手したいと考えた。如何なる方法があるか。簡潔に理由を付して答えなさい。
- (3) 殺人被告事件における被告人Xの起訴状に、「被告人Xは、Yと共謀の上…」と記載されていたため、同被告人の弁護人は、裁判所に対して、事前共謀として起訴されているのであれば、検察官に事前共謀の日時、場所及び方法を明らかにさせてもらいたい旨の申出をした。これを受けて、裁判所は検察官に釈明を求めたところ、検察官は、事前共謀であるが、共謀の日時、場所及び方法については、その後の手続で明らかにしたいと述べた。このような起訴状の訴因は特定されているといえるか。結論を述べ、その理由を簡潔に記しなさい。
- (4) 窃盗被告事件において、弁護人は被害者との間で行われた被害弁償の事実を明らかにするため、示談書の証拠調べ請求をした。ところが、検察官は示談書の作成経緯に問題があるとして不同意との意見を述べた。この示談書を証拠とすることができるか。結論を述べ、その理由を簡潔に記しなさい。
- (5) Xは、住居に侵入し、被害者を強姦したという事件を起こした。検察官Aは、強姦の事実について告訴が得られなかったため、住居侵入の事実のみを公判請求し、有罪判決が確定した。その後、強姦の事実について有効な告訴があったので、検察官Bが強姦の事実を公判請求した。裁判所は、どのような裁判をすべきか。結論を述べ、その理由を簡潔に記しなさい。